

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年8月20日 (2009.8.20)

【公表番号】特表2008-546811(P2008-546811A)

【公表日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-518575(P2008-518575)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	47/40	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/14	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/14	
A 6 1 K	47/38	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/06	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/40	
A 6 1 K	47/26	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	35/00	

A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 15/00
A 6 1 P 15/10
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 13/12
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 17/14
A 6 1 P 7/00
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 9/12
A 6 1 P 9/10 1 0 1
A 6 1 K 9/14

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月29日(2009.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Mas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストを含んでなる医薬組成物であって、プロテインキナーゼB/Aktの活性の変更を含むアポトーシス活性の調節における使用のための、医薬組成物。

【請求項 2】

Mas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストを含んでなる医薬組成物であって、活性酸素種の産生の調節における使用のための、医薬組成物。

【請求項 3】

アンギオテンシン（1－7）ペプチド、並びに／又はペプチド又は非ペプチドである、その類似体、アゴニスト及び／又はアンタゴニストを含んでなる、病気の予防及び治療における使用のための、請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

アポトーシス活性調節物質としてアンギオテンシン（1－7）並びに／又はその類似体、アゴニスト及び／又はアンタゴニストに対応するペプチド配列をコードするcDNAを含んでなる、病気及び老化により生じる器官の変化の遺伝子治療において使用するための、請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

病気及び老化により生じる器官の変化の遺伝子治療における使用のための、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

アポトーシス活性の調節物質としてアンギオテンシン（1－7）ペプチド、並びに／又はペプチド又は非ペプチドである、その類似体、アゴニスト及び／又はアンタゴニストを含んでなる、老化により生じる器官の変化の予防又は治療において使用するための、請求項 1～5 のいずれか 1 項記載の医薬組成物。

【請求項 7】

少なくとも 1 つのさらなる薬理的に活性な化合物及び／又は薬学的に許容可能な担体及び／又は賦形剤を含んでなるとともに、前記担体及び／又は賦形剤が、ポリエチレングリコール、非水性ビヒクル、固定油を含有するか又は含有しない、水、食塩水溶液、緩衝

液、リンゲル液、デキストロース溶液、Hank溶液、生物適合性食塩水溶液からなる群から選択される、請求項 1～6 のいずれか 1 項記載の医薬組成物。

【請求項 8】

経口、筋肉内、静脈内、皮下、局所、経皮、肛門、吸入投与経路のいずれかによるか又は埋め込まれるか若しくは注射されてよいデバイスとしての使用のための、請求項 1～7 のいずれか 1 項記載の医薬組成物。

【請求項 9】

埋め込み型又は注射用のマイクロ及びナノ粒子デバイスとしての、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

生物分解性ポリマーを含んでなる、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記生分解性ポリマーが、PLGA、PLA、PGA、カプロラクトン及びこれらのポリマーとリポソームの組み合わせからなる群から選択される、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

Mas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、筋萎縮における筋肉分化、成熟、及び、再生における変化を含む病気の研究、予防及び治療、そして老化により生じる器官の変化の予防又は治療、そしてエルゴジェニックな援助のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 13】

請求項 12 に記載のMas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、悪液質、癌、AIDS、多数の因子によるベッドへの長期の拘束、糖尿病、コルチコイドの慢性的使用並びに筋萎縮に導く様々な神経学的症候群、外傷及び変性疾患の研究、予防及び治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 14】

Mas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、Mas 受容体の発現の減少並びにMas受容体アゴニストの血漿及び組織レベルの減少に関連する、循環器疾患及びその合併症、自己免疫疾患、アンギオテンシン変換酵素のDD型などの遺伝子多型の結果としての病気、心筋梗塞などの器官及び組織における虚血事象に関連した合併症、そして温血動物における老化により生じる器官の変化の研究、予防又は治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 15】

請求項 14 に記載のMas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、心筋梗塞、創傷、やけど、紅斑症、腫瘍、I型及びII型糖尿病並びにその合併症、男性の生殖系（精子形成、精子の運動性、勃起の機能不全）及び女性生殖系及び胚形成の障害、呼吸器疾患、腎障害、胃腸障害、婦人科の障害、血管新生、脱毛症、血液疾患及び血管形成（腔内プロステシス、及び血管形成後の再狭窄）、血液の急性発作の障害の研究、予防及び治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 16】

Mas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、内皮の機能不全を結果として伴う病気の、活性酸素種の減少を含む、研究、予防及び治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 17】

請求項 16 に記載のMas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、循環器疾患、腎臓病、多重メタボリック症候群、勃起不全及び中枢神経系の病気の、研究、予防及び治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 18】

Mas Gタンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、活性酸素種の減少と結果としての内皮の機能不全の改善を含む遺伝子治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の Mas G タンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、循環器疾患（全身性及び肺の高血圧、妊娠高血圧、アテローム性動脈硬化、血栓症、心筋梗塞、心不全など）、腎臓病、多重メタボリック症候群、勃起不全、中枢神経系の病気、血管炎の治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 20】

Mas G タンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、皮膚の損傷、創傷、火傷、紅斑症、腫瘍の研究、予防及び治療のため、器官移植、胚性又は非胚性幹細胞による治療、器官及び他の組織の再移植、並びに、アポトーシス活性の一時的又は慢性的な低下を必要とする他の治療のための補助的処置として、生殖系の障害、気管支疾患、腎障害、胃腸障害、婦人科の障害、血管新生、脱毛症、血液疾患及び血管形成、放射線治療後の血液の急性発作の障害、記憶及び学習障害の予防及び治療のための、そして温血動物における老化により生じる器官の変化の予防又は治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 21】

Mas G タンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、アポトーシス活性の慢性的な低下、生殖系の障害、気管支疾患、腎障害、胃腸障害、婦人科の障害、血管新生、脱毛症、血液疾患及び血管形成、放射線治療後の血液の急性発作の障害、記憶及び学習障害の治療、そして温血動物における老化により生じる器官の変化の予防又は治療のための医薬組成物の製造における使用。

【請求項 22】

Mas G タンパク質結合受容体アンタゴニスト及び／又はアゴニストの使用であって、器官移植、胚性又は非胚性幹細胞による治療、器官及び組織の再移植、並びに、アポトーシス活性の一時的又は慢性的な低下を必要とする他の治療のための補助的処置として、そして、温血動物における老化により生じる器官の変化の予防又は治療のための医薬組成物の製造における使用。